NPO法人アスリード

令和6年度第３回よこはま夢ファンド登録団体助成事業

キャリア教育支援誌『みらい百花』活用状況調査報告

2025年3月31日

CONTENTS

00　調査の概要　2

01　『みらい百花』活用を決めた理由　3

02　『みらい百花』の活用方法　4

03　活用した生徒の反応（先生から）　5

04　良い／面白い／役立つと思ったコンテンツ　6

05　新たなコンテンツ・改善の提案　8

06　『みらい百花』活用アイデア　9

07　紙とwebどちらがよいか　10

08　キャリア教育で育みたい生徒像　11

09　社会人や編集室へメッセージ　12

10　今後の改善について　13

※『みらい百花』はアスリードwebサイトに
PDF版を掲載しています　　リンク先▸
https://aslead.org/program/media/

00 調査の概要

この調査は、令和6年度第3回よこはま夢ファンド登録団体助成金を活用して実施しました。

目的

毎年発行・無償配付している『みらい百花』の学校での実際の活用状況を把握し、よりよい冊子の内容や在り方、学校でのキャリア教育支援の充実につなげたいと考えています。

調査方法

『みらい百花』配布先の横浜市内の学校で、授業のなかで活用している学校の先生にインタビューを行い、また可能な範囲で授業計画や生徒の成果物など資料も共有していただきました。

調査の期間と協力校

期　　間

2024年11月　～　2025年３月31日まで

協 力 校

横浜市内の公立・私立中学校　全9校

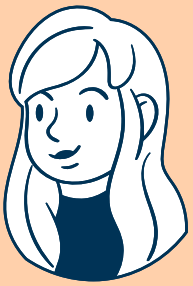
- 星槎中学校
- 横浜市立横浜吉田中学校
- 横浜市立高田中学校
- 横浜市立茅ケ崎中学校
- 横浜市立市ケ尾中学校
- 横浜市立豊田中学校
- 横浜市立港中学校
- 明蓬館 中等部
- 横浜市立中和田中学校

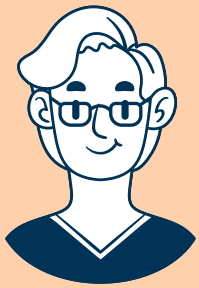
※順不同、中和田中学校は調査票による聞き取り

01 『みらい百花』活用を決めた理由

『みらい百花』を生徒に配布したり授業で活用した理由を伺いました。

職業調べの参考資料として**一人一冊配布**し、手元における資料となるからです。





キャリア教育担当の教員が情報を集めたり、一から資料を作成する時間は限られています。生徒が将来をイメージできる**様々な大人の姿**や『ジブン軸』の**ワークシートがwordデータ**でも提供されていたので採用を決めました。地域の中小企業が多く掲載されていることも、生徒の身近な存在でありいいなと思いました。

昨年度の学年も活用していたので今年度も活用しました。（4名）

前任の学校でも**無償配付**されており、ワークシートが付いていることも知っていて、この学校でも活用しました。

地元のNPOが作成し、**地域の企業**が掲載されていることを知って、キャリア教育**プログラムも何か一緒に**できるのではと考えました。

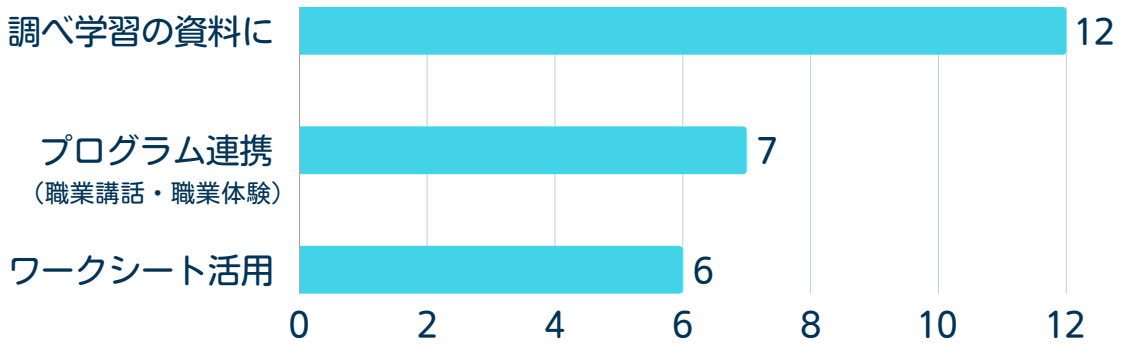
職場体験に向けて、様々な職種に興味を持たせたいと考えました。

02 『みらい百花』の活用方法

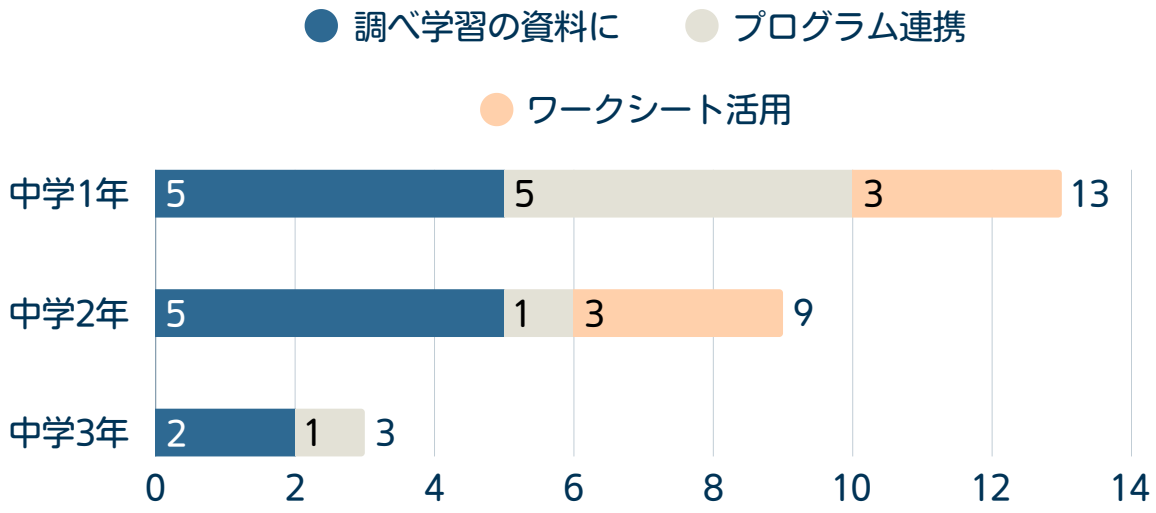
主な活用方法と時期をグラフにまとめました。
（複数回答、異なる学年での活用の場合それぞれカウント）
※授業の詳細は個別の学校レポートをご覧ください。

活用方法

全9校の学年ごとにおける実施数



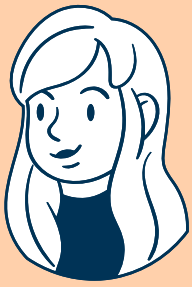
活用時期別

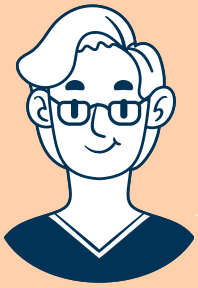


03 活用した生徒の反応（先生から）

『みらい百花』を読んだりワークシートを活用したときの生徒の反応や変化について、先生方に伺いました。

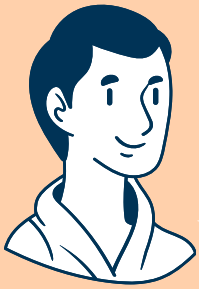
「ここ、練習試合で行った学校だ。この進路からこの仕事につけるんだ。」と、**社会人の経歴を身近に感じながら仕事を考えるきっかけに**していました。
※『みらい百花』の「職業人インタビュー」では取材対象者の方に承諾をいただき、出身校（中学・高校・大学等）を掲載





好きな事や趣味は分かっても、自分の"強み"や"いいところ"となるとうまく表現できない生徒もいます。『ジブン軸』ワークシートではチェック項目から選ぶことで、**教員の予想以上に書き込めていました。**

会社勤めの方が多い地域でもあるからか**「自分の知らない仕事ってまだまだたくさんあるな･･･」**とつぶやく生徒も。**「働くってこんな感じなんだ」**という言葉も印象的でした。

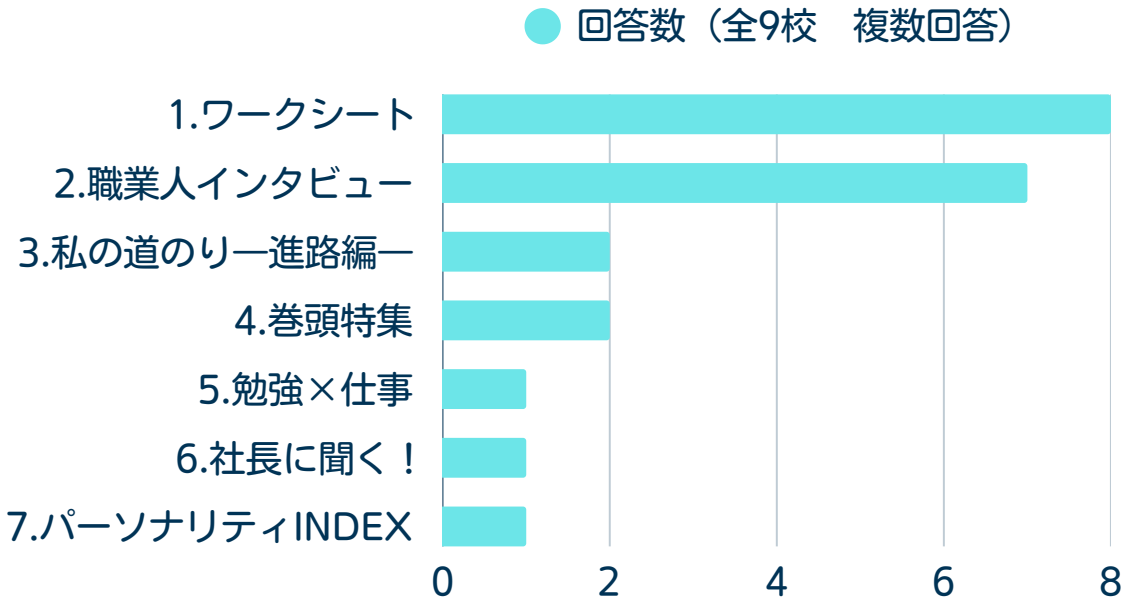


生徒が自分の関心をもとにまとめた職業調べのスライドでは、**『みらい百花』に掲載されていた特定の職業が多く**なっていたように思います。生徒に魅力的にうつったのかもしれません。

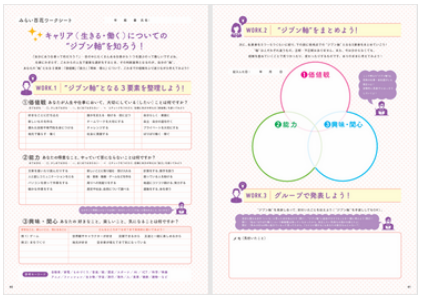
社会人の趣味や長所が載った巻末のパーソナリティINDEXから自分との共通点を見つけ、様々な職業に興味を広げる生徒もいました。

04-1 良い／面白い／役立つと感じたコンテンツ

良い／面白い／役立つと感じた各記事や特集とその理由を伺いました。



1. ワークシート



【『ジブン軸』　※みらい百花巻末に付属】
- 仕事を考えるうえで、興味関心だけでなく能力や価値観を考えるという視点がよかった。
- 自分を知るきっかけとして楽しく活用できた。
- 言語化や日本語そのものに難しさを感じる生徒にとって、選択肢から選ぶのは分かりやすい。
- キャリアパスポートに綴じ込み、繰り返し見返すことができる。

【ワークシート全体　※ほか4種のワークシートとガイドをweb上に提供】
- 授業を組み立てる際、ワークやテーマ設定の参考にもできる。
- データもあり、アレンジしたり印刷したりでき扱いやすかった。
- 記入例があったので、教員からも生徒に伝えやすかった。
- 他の教材も参考にしながら取り組めるワークになっていた。

04-2 良い／面白い／役立つと感じたコンテンツ

2. 職業人インタビュー

- 仕事内容だけでなく人生や生の言葉にふれられる。
- 横浜で育つ生徒に身近な企業や学校（出身校）が載っている。
- 生徒が普段ふれられない、多様な職業の素晴らしさがある。
- 「選んだ学部・学科」「必要な資格」といったコラムで、自分の夢に対して進学先を考えるきっかけになる。
- 「恩師」などページごと異なるコラムがあり興味深い。

3. 私の道のり―進路編―

- 進学先でどんな学びができて、どんな進路につながるのかが具体的にイメージできそう。
- 転職も当たり前の世の中なので、こんな進路もあると考えるきっかけにしてほしい。

4. 巻頭特集（水族館の仕事／プロスポーツの仕事など）

- 知っている場所・仕事で生徒の関心が高かった。
- スポーツ＝選手だけでなく、表舞台に立つ人たちを支える裏方として、輝く仕事もあると知ってほしい。

5. 勉強×仕事（特別企画）

生徒が未来をイメージしながら、見通しをもって学びにむかうことに役立つ。

6. 社長に聞く！

"社長＝稼ぐ"といった限られたイメージが変わるような、大事にしている想いや考え方に触れられる。

7. パーソナリティINDEX

社会人の趣味や長所など、自分との共通点を見出し様々な職業への興味・関心へと繋げていた。

05 新たなコンテンツ・改善の提案

新たなコンテンツや、よりよい冊子にしていくアイデアを伺いました。

■　読みたいと思う業種、特集のアイデア

- プログラミングやeスポーツなど生徒に人気の業種が欲しい。
- スポーツ、保育士や消防士など目指す生徒が多い身近な職業も。
- 必要な資格や進学ルートがわかるものがあると教員も指導しやすい。
- 地域とどう関わっているのかコラム等があると生徒がイメージしやすい。
- 1つの企業にどんな職種があるのか、分解図のようなものがあると面白い。
- 学び以外にも、生徒の体験や様々な個性がどう仕事につながるか知りたい。

■　もっと読みやすくするために

- 小6程度のルビがあると、どんな生徒も読みやすくなる。
- 文字量を減らし文章を絞ると読みやすく、教員も授業で取り上げやすい。
- 「施工管理」「開発」等は読めてもすぐに理解が難しいので、かみ砕いた説明にするか、用語解説コーナーを入れてほしい。
- 授業の導入で生徒に提示できる課題やクイズがあり、読み進めると分かる･･･など仕掛けがあると生徒が取り組みやすい。

■　キャリア学習の授業により役立てるために

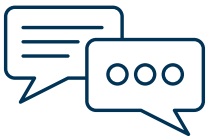
- 進学先を考える授業で使えるワークシートがほしい。
- 複数のワークシート同士のつながりやねらいが明確だと、授業計画に組み込みやすい。
- web上のワークシートやガイドの存在を知らなかった。冊子に入れ込んだり、ＱＲコードでリンクを入れるなど分かりやすくしてほしい。
- 『みらい百花』についての紹介動画があると、授業の導入で生徒と見ることができ、他の教員への教材の紹介の際にも使える。
- web上の動画コンテンツ『わたしごと』との連携があってもいい。
- 4月に冊子が手元にあると、3年間の計画に入れやすい。

06 『みらい百花』活用アイデア

『みらい百花』を活用してできるキャリア教育のアイデアを伺いました。

自由なプログラム企画

- 例えば『SASUKE』が好きな生徒は、仮設足場資材に関心を示し、そこで働く人や仕事にも興味をもつかもしれない。教育支援に協力的な地域の企業と、何ができるか相談しながら企画してみたい。



職業講話コーディネート

- 依頼できる企業との関係がなく困っている学校は多い。外部組織に依頼できると、教員の負担軽減にもなる。
- みらい百花で予習してから実際に掲載された人を呼べるといい。

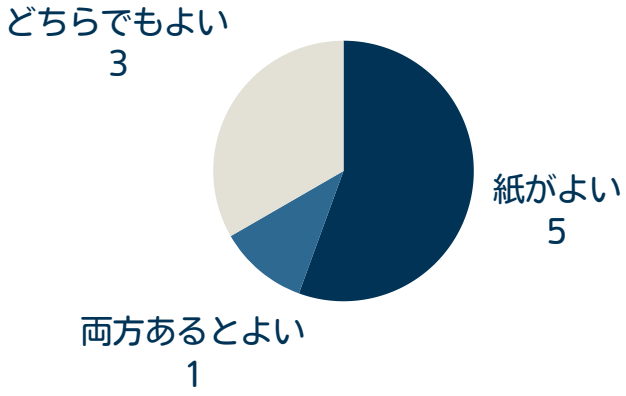
会社・工場見学に

- 生徒を連れて行きたい想いはあるが探すのが難しい。市民向けに作られた見学ツアーなどよりも、リアルな仕事や工場の様子が見られる地元の企業として『みらい百花』から選べたらいいと思う。

07 紙とweb版どちらがよいか

使いやすい"キャリア教育支援誌"の在り方について伺いました。

回答結果



【紙・web版どちらでもよい】

- 生徒はICT端末も使いこなせている。
- web版なら主なキーワードにリンクをつけ、生徒が関心を広げられるようにしてほしい。
- 他のwebサイトを見る可能性もあるが、関連して調べた結果が課題解決につながる良さも。
- 学習障害で読みづらさがある生徒にとってはweb版で文字の拡大等ができるのもありがたい。

【紙の冊子がよい】

- 家に持ち帰り、保護者の方も見ることができる。
- 手元に紙の冊子があることで、タブレットでのスライド作成がしやすい。
- 生徒がどのページに関心をもっているのかすぐ分かり、教員も声をかけやすい。
- 生徒の状況によっては、webサイトの場合他のページを見てしまう可能性もある。

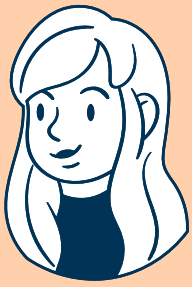
【両方あるとよい】

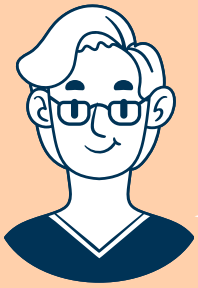
- 印刷は大変かと思うが冊子は家に持ち帰り保護者の方にも見てもらえる。一方でweb版があると持ち運びに便利だとも思う。

08 キャリア教育で育みたい力

『みらい百花』にかぎらず、キャリア教育を通してどんな風に生徒を育みたいかを伺いました。

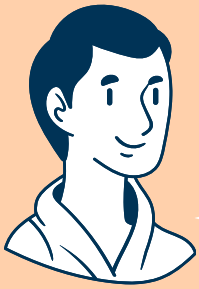
好きな事をそのまま仕事にしてもいいし、仕事を頑張って別で好きな事をしてもいい。学校の中だけでなく、キャリア学習で色々な生き方の大人と出逢って、自分自身で色々なところに価値を見いだし楽しめる人になってほしいと考えています。





教員の仕事であれば、生徒と向き合うこと以外にもたくさんの業務があります。知っている仕事の楽しい面だけを見てしまいがちですが、目指す仕事であれば良いところも大変なところも知ったうえで、生徒自身にあった仕事を選び長く活躍してほしいです。

中学3年次での進路選択の前に、「どんな大人になりたいか」「どんなふうに生きたいか」のイメージをまずもってほしいです。途中で変わっても大丈夫。保護者の人とも相談しながら、そのイメージをもとに私たちもサポートしたいと考えています。



「自分の将来は明るい」と子どもたちに感じてほしい。成績ばかりが重視されていると子ども自身がありのままの自分を認められないですし、ネガティブな情報に触れることも多い時代です。多様な大人を知る事で、子どもたち自身の可能性に気づいてほしいです。

誰にでも得手不得手があります。仕事の大部分が大変なことだとしても、自分にとって「やってて良かった」と思える部分が少しでもあるように、今から「好き」や「いいな」にアンテナをはって、それを仕事につなげていってほしいと考えています。

09 社会人や編集室へメッセージ

『みらい百花』に掲載される社会人や、制作スタッフへ、先生方からメッセージをいただきました。

- みらい百花のような魅力ある冊子を無償で配布していただけるというのはとてもありがたいです。生徒の進路学習、キャリア学習の授業を行う際にとても参考になります。

- 毎年作り替えているとはすごいです！社会人のやりがい、想い、そこに至る理由が1ページにまとまっていて、どこを読んでも自分も楽しいです。

- ここまで働く人の言葉が詳しく載っている冊子は他にないのでは。10年後、この社会を支えていく子どもたちが「働きたい」と思えるようなメッセージをいただけたら嬉しいです。

- 本当にご苦労さまです！子どもたちが手に取って読むところにたどりつくまで、どう活用するか教員が間に入る必要があると考えています。

- 発達に特性のある子どもが増えているなか、『みらい百花』を通じて理解ある企業さんが身近にいるということを知ることができました。

- 18,000種類もの仕事のうちの一部かもしれませんが、日々のくらしや社会を回している仕事を私も知ることができて良かったです。「教員をしていなかったらこの仕事もいいな」と憧れを持ちました。

10 今後の改善について

4月から始まる次号の制作に向けて、実施できることを検討しました。

1

読みやすさ、ニーズを取り入れたコンテンツ制作

どの先生からも指摘のあった文字の多さについては対象校を考えて構成を見直します。先生から提案いただいたコンテンツや、課題解決型職業講話を通じて中学生からもらったアイデアを特集などに反映します。

2

配付方法・広報の改善

新年度明け、担当の先生に冊子の存在やサポートできるプログラムなどを知っていただけるようにします。また、ワークシートやガイドも冊子内での紹介やweb上により分かりやすく配置することを検討します。

3

継続的な学校との連携・協働

学校が地域の企業とキャリア教育プログラムを実施しやすくなるサポートを行うとともに、みらい百花を含めた支援のよりよい在り方について学校・先生方の声を聞きながら改善していきます。